

こども園における自己点検及び自己評価

実施期間:【平成 26年 2月13日～平成 27年 2月24日】

評価基準

【A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない】

評価方法

【A:4 B:3 C:2 D:1と換算して平均を出した。】

◎全職員に自己評価について趣旨を説明し実施した。

◎全職員から提出された自己評価表をまとめた。

自己評価の観点	評価
I 保育の計画性	
1. 園の保育理念・保育方針の理解	A
○園の保育理念や保育方針を理解している。	
2. 保育所保育指針の理解	A
○保育所保育指針を理解していると思う。	
3. 保育課程の理解	A
○園の保育過程を理解していると思う。	
4. 指導計画の作成	A
○指導計画は、保育指針・保育過程・幼児の実態等をもとに考え作成している。	
5. 環境の構成	B
○安全で清涼感のある環境構成をしているか。	
○子どもが自ら活動を展開して行けるような場や空間の構成をしている。	
○子どもの動線や目線に配慮した環境構成をしている。	
○季節の変化に応じた環境構成をしている。	
6. 保育と計画の評価・反省	A
○自分の保育と計画の評価・反省は行うようにしている。	
○評価反省を次の保育と計画に活かせるように行っている。	
○自分の保育を他の職員たちにも見てもらい、それをもとに検討している。	
II 保育の在り方・子どもへの対応	
1. 健康と安全	A
○登園時は視診や検温により子どもの体調が悪くないか確かめている。	
○体調が悪そうなどときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している。	
○園内に危険な箇所や物がないか、危険な遊び方はないか観察している。	
○万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告したり保護者に連絡を取ったり医者に診てもらするなど適切な処置を行っている。	
2. 子どもの理解	A
○一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている。	
○子ども同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている。	
○子どもの理解のために保護者と話し合うことがある。	
3. 指導とかかわり	A
○子どもの心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている。	
○子どもの気持ちに共感しながら一緒に遊ぶ遊んでいる。	
○子どもの話をよく聞くようにしている。	
○子どもをほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしている。	
○子どもの個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている。	
○「先生のようにやってみよう」と子どもが思うようなたし振る舞いを心がけている。	
4. 保育者同士の協力と連携	B
○子どものことについて常に保育者同士で話し合い、クラスを超えて情報を共有している。	
○指導上必要な園児については、職員全体でよく話し合い、共通理解を持って対応するようにしている。	
III 専門家としての資質（能力、良識、適正等）	
1. 専門家としての能力・良識・義務	A
○子どもの性格や個性を把握するよう努めている。	
○朝と帰りのあいさつは、明るく元気に親しみをこめてしている。	
○何かをしてもらったら感謝の気持ちを言葉等で表わしている。	
○職務上知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	
2. 組織の一員としての在り方	B
○子どもの事やクラスの出来事等で必要な事は、園長や主任に報告・連絡・相談をしている。	
○職員や園、の批判を軽はずみにしていない。	
3. 保育の楽しみ・喜び	A
○子どものささやかな成長が理解でき、それを喜ぶことができる。	
4. 周りを感じ取れる感性	B
○保育や子育てに関する情報を絶えずとらえようとしている。	
5. 研修と研究	A
○研修会等には課題を持って進んで参加している。	
○園の遊具や教材、機材について基本的な使い方を知っている。	
IV 保護者への対応	
1. 情報の発信と受信	A
○クラスや子どもの様子、保育のポイント等をクラスだより等で知らせている。	
○個々の子どもの様子は、直接話したり連絡帳等を使って伝え合っている。	
2. 協力と支援	B
○保護者からのさまざまな訴えや意見要望については安易に受けたり、断ったり、無視したりしないで園長や主任等に報告や相談をしている。	
3. 守秘義務の遵守	A
○保護者の住所・電話番号など個人情報の管理については園の方針に従っている。	
4. 対応	B
○電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいので、手短かに簡潔に要領よく対話することを心がけている。	
5. クレームへの対処の仕方	A
○保護者からクレームがあった場合は、謙虚に話を聞き、園長に連絡・報告・相談している。	
V 地域との関わり	
1. 地域との関わり	A
○地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている。	
○卒園した子どもの情報を得るように努めている。	
○子育て支援のあり方について職員全体で話し合っている。	
○地域での行事や祭りなどに積極的に参加したり、協力したりしている。	